



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 東京精密

上場取引所 東

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉田 均

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	64,228	14.3	8,965	40.4	9,168	41.1	6,543	42.5
2019年3月期第3四半期	74,922	19.1	15,031	20.0	15,563	22.7	11,377	27.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,766百万円 (40.5%) 2019年3月期第3四半期 9,691百万円 (2.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	157.18	156.14
2019年3月期第3四半期	273.80	271.70

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	144,983	108,997	74.3
2019年3月期	157,573	107,403	67.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 107,659百万円 2019年3月期 106,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		59.00		66.00	125.00
2020年3月期		38.00			
2020年3月期(予想)				38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(参考) 2019年3月期の第2四半期期末と期末配当金につきまして、それぞれ創業70周年記念配当10円(年間20円)を含んでおります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	15.3	12,000	40.7	12,100	41.8	9,000	38.6	216.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	41,675,081 株	2019年3月期	41,598,381 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	37,042 株	2019年3月期	36,791 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	41,629,263 株	2019年3月期3Q	41,552,883 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料1「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における内外経済情勢は、米国経済は底堅く推移したものの、米中貿易摩擦や中国経済の減速などの影響により、日本・アジア諸国・欧州経済など世界経済は全体として停滞感が強まりました。加えて地政学リスクの高まり、英国のEU離脱問題などもあり、先行き予断を許さない状況が続きました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、受注高 607 億 54 百万円（前年同期比25.2%減）、売上高 642 億 28 百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益 89 億 65 百万円（前年同期比40.4%減）、経常利益 91 億 68 百万円（前年同期比41.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 65 億 43 百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

#### 【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、第5世代移動通信システム(5G)のインフラ普及に関連したロジックデバイス、センサ関連分野の需要が堅調に推移したことに加え、半導体・電子部品関連新興企業が急速に拡大する中国における活発な投資により、受注高は前年度第4四半期を底に増加傾向となっています。これに伴い当第3四半期(10-12月)実績は、前年同期比で売上高は減少しましたが、受注高は微増となりました。

当部門における当第3四半期連結累計期間の受注高は 382 億 47 百万円（前年同期比30.2%減）、売上高 416 億 14 百万円（前年同期比18.6%減）、営業利益は 58 億 69 百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

#### 【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザである自動車関連業界の設備投資抑制に加え、工作機械受注減少等モノづくり業界全般の設備需要減速が続く、当社装置の受注高および売上高は、前年同期比で減少しました。営業利益については、売上減少要因に加えて、連結子会社の退職給付に係る過年度分の一過性費用計上(第1四半期)、買収子会社による充放電試験システム事業における研究開発・改革費用等(連結累計期間)による減少要因を含んでいます。

当部門における当第3四半期連結累計期間の受注高は 225 億 07 百万円（前年同期比14.6%減）、売上高 226 億 13 百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は 30 億 95 百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 【資産、負債及び純資産の状況】

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 125 億 89 百万円減少し、1,449億 83 百万円となりました。減少の主な要因は、現金及び預金の減少 91 億 33 百万円、受取手形及び売掛金、電子記録債権の減少 78 億 49 百万円、建設仮勘定の増加 26 億 16 百万円等です。

当第3四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ 141 億 83 百万円減少し、359 億 86 百万円となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務の減少 98 億 90 百万円、未払法人税等の減少 31 億 64 百万円、長期借入金の減少 20 億円等です。

当第3四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 15 億 93 百万円増加し、1,089 億 97 百万円となりました。この結果、自己資本比率は 74.3 %となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、前回発表時(2019年11月8日)の見通しを変えておりません。

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

## 2 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,518	32,384
受取手形及び売掛金	29,230	23,097
電子記録債権	6,915	5,198
商品及び製品	1,830	1,999
仕掛品	19,999	19,853
原材料及び貯蔵品	8,165	7,957
その他	2,510	4,279
貸倒引当金	△ 75	△ 49
流動資産合計	110,094	94,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,407	14,899
その他（純額）	17,739	21,254
有形固定資産合計	33,147	36,154
無形固定資産		
のれん	82	46
その他	3,691	4,098
無形固定資産合計	3,773	4,145
投資その他の資産		
その他	10,557	9,962
貸倒引当金	△ 0	△ 1
投資その他の資産合計	10,557	9,960
固定資産合計	47,478	50,260
資産合計	157,573	144,983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,350	6,405
電子記録債務	16,977	10,033
短期借入金	1,300	1,300
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	3,519	354
引当金	1,375	612
その他	6,425	7,537
流動負債合計	40,948	28,243
固定負債		
長期借入金	8,000	6,000
役員退職慰労引当金	53	59
退職給付に係る負債	809	1,087
資産除去債務	241	233
その他	116	362
固定負債合計	9,220	7,742
負債合計	50,169	35,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,591	10,672
資本剰余金	21,608	21,689
利益剰余金	72,200	74,417
自己株式	△ 120	△ 121
株主資本合計	104,280	106,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	868	583
為替換算調整勘定	199	△ 53
退職給付に係る調整累計額	683	470
その他の包括利益累計額合計	1,751	1,001
新株予約権	784	771
非支配株主持分	587	566
純資産合計	107,403	108,997
負債純資産合計	157,573	144,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
売上高	74,922	64,228
売上原価	44,475	38,907
売上総利益	30,446	25,320
販売費及び一般管理費	15,415	16,355
営業利益	15,031	8,965
営業外収益		
受取利息	21	24
受取配当金	121	73
為替差益	299	143
その他	125	71
営業外収益合計	567	312
営業外費用		
支払利息	22	62
固定資産除売却損	1	14
その他	11	32
営業外費用合計	35	109
経常利益	15,563	9,168
特別利益		
新株予約権戻入益	2	2
投資有価証券売却益	—	53
特別利益合計	2	55
特別損失		
割増退職金	—	42
特別損失合計	—	42
税金等調整前四半期純利益	15,566	9,181
法人税、住民税及び事業税	3,877	2,474
法人税等調整額	260	194
法人税等合計	4,137	2,668
四半期純利益	11,429	6,513
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	△ 30
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,377	6,543



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	11,429	6,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 1,021	△ 284
為替換算調整勘定	△ 485	△ 248
退職給付に係る調整額	△ 230	△ 212
その他の包括利益合計	△ 1,738	△ 746
四半期包括利益	9,691	5,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,638	5,792
非支配株主に係る四半期包括利益	53	△ 26

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

#### (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

#### (会計方針の変更)

##### たな卸資産の評価方法の変更

当社のたな卸資産(仕掛品を除く)の評価方法は、従来、先入先出法による原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間の期首より総平均法による原価法に変更しております。

これは、新基幹システムが第1四半期連結会計期間の期首に稼働したことを機に、先入先出法より総平均法にて在庫評価を行う方が、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことができると判断したことによる変更であります。

なお、過去連結会計年度について、総平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を第1四半期連結会計期間の期首残高として計算しております。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であります。

##### 国際財務報告基準(IFRS)第16号「リース」の適用

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用にあたりましては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であります。

#### (セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	51,120	23,801	74,922	74,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	51,120	23,801	74,922	74,922
セグメント利益	9,898	5,132	15,031	15,031

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	41,614	22,613	64,228	64,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	41,614	22,613	64,228	64,228
セグメント利益	5,869	3,095	8,965	8,965

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。